

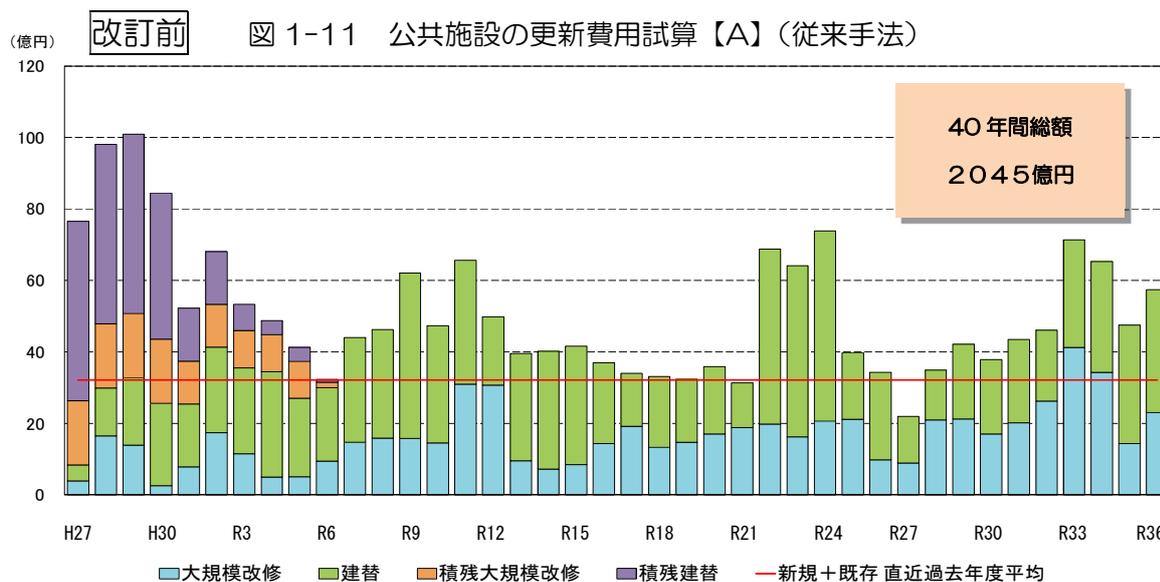
能代市公共施設等総合管理計画改訂版（概要版）

令和4年3月改訂

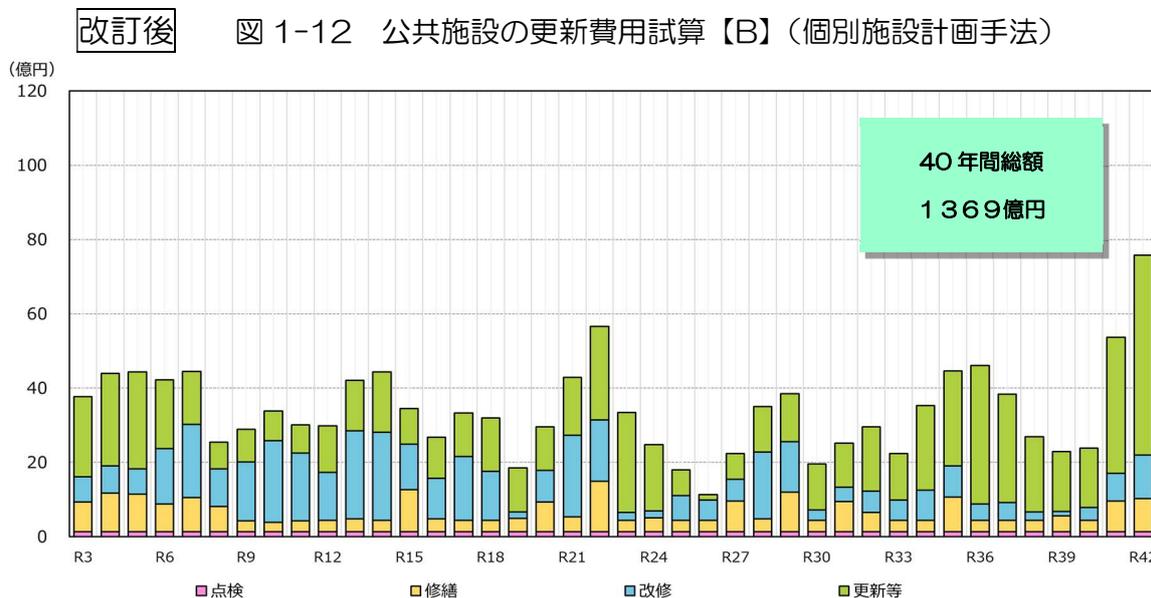
◇公共施設等総合管理計画の改訂◇

本市においては、平成29年3月、市の所有する施設全体の管理に関する基本的な方針を定めた「能代市公共施設等総合管理計画」を策定。令和3年3月、これに基づく「個別施設計画」を策定しました。今回、個別施設計画の策定や国からの改訂要請、本市を取り巻く状況の変化等を踏まえて本計画の改訂を行うものです。

◇公共施設の将来の更新費用◇



各個別施設計画による長寿命化（建替え時期を20%延長・予防保全等）を反映させた結果



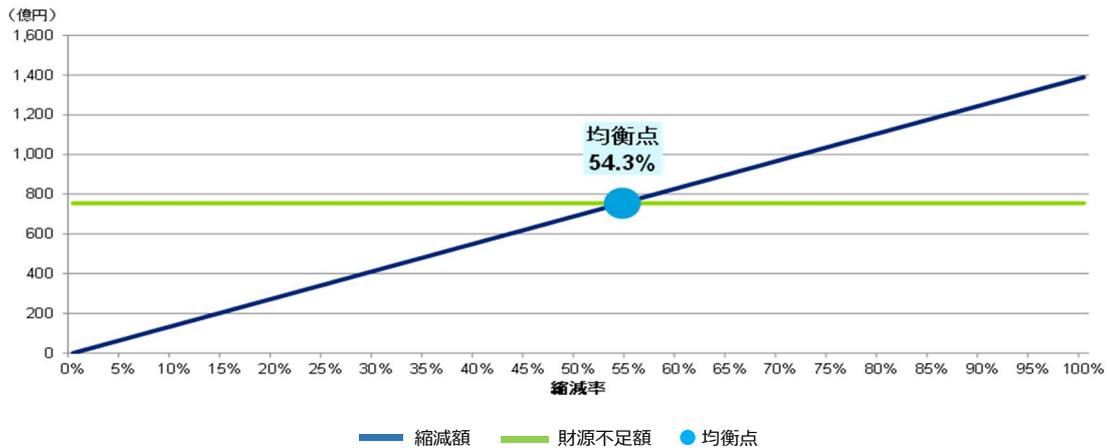
◇財源不足額◇

改訂前

財源不足額 30年間で754億円

延床面積の縮減率 54.3% (15.6万㎡)

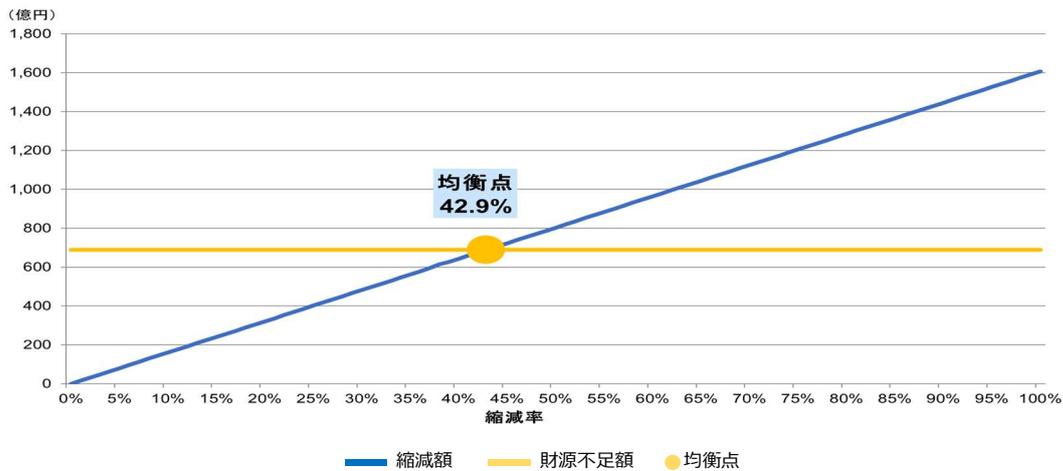
図 財源不足額と延床面積の縮減率



改訂後

財源不足額 30年間で696億円

延床面積の縮減率 42.9% (12.3万㎡)



◇縮減目標◇

平成 28 年度に策定した本計画を基に不要となった公共施設の統廃合や各個別施設計画（長寿命化計画）の方針に基づいた長寿命化対策によって費用圧縮に取り組んでいるところですが、依然として696億円の財源不足が発生している状況です。財政シミュレーションの結果では、今後財政的に厳しい状況となることが予想されることから、公共施設の延床面積に占める縮減割合は、策定時に定めた目標である「30年間で35%削減」を掲げながら、残る財源不足額については、「公共施設の維持・更新にかかる費用を10%程度削減」することとします。

【延床面積に占める縮減割合】

30年間で公共施設の延床面積を35%削減（金額換算566億円）

【維持管理コストの削減】

公共施設の維持管理・更新等にかかる費用を10%程度削減（削減コスト130億円）